

研究構想図

令和6年度 西東京市立東伏見小学校 校内研究

今日的な課題

○多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められている。

学校教育目標

- 心もからだも健康な子ども
- ◎よく考え実行する子ども
- なかよきはげましあう子ども

児童の実態

- 基礎的・基本的な知識・技能において、個人差が大きい。能力に応じた指導の工夫を充実させる必要がある。
- 子どもの問題意識や目的意識を高め、すすんで学ぶ力を育てる必要がある。

研究主題

自ら学び続ける子どもの育成

～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を通して～

研究の仮設

教科・領域等のあらゆる学習において、問題を解決するために、見通しをもって自分に合った選択・判断をし、他者と協働しながら解決する学習指導を行うことで、自らすすんで学び続ける子どもを育成することができるであろう。

	低学年	中学年	高学年
	さまざまな学び方を知り、すすんで学び続ける子	見通しをもって計画を立て、すすんで学び続ける子	目的に合った選択をし、調整しながらすすんで学び続ける子
学習問題をつかむ・見通す	ねらいに合わせた課題設定や学習計画の立て方を知る。	教師と話し合いながら学習問題を設定し、見通しをもって学習計画を立てる。	目的に応じた解決の方法や手順を考え、見通しをもって学習計画を立てる。
学習問題を追究する	基本的な学び方の中から自分の興味関心に合わせた学び方を選択し、他者と協働しながら追究する。	自分に適した学び方を選択し、他者と協働しながら追究する。	学習問題に沿って、自分に適した方法で、他者と協働しながら追究する。
まとめ・振り返る	基本的な観点で学習を振り返り、次時に生かす。	自分の学びを振り返り、次時に生かす。	計画表をもとに自分の学びを振り返り、分析したことを次時に生かす。